

児童図書研究室ニュース

2012.10.5

福島県立図書館 <http://www.library.fks.ed.jp>

No. 80

第26回「よい絵本」が発表されました

第26回「よい絵本」が全国学校図書館協議会(SLA)より発表されました。

「よい絵本」は、学校や家庭、地域での子どもたちへの読み聞かせや絵本をすすめるときに、本を選ぶ手がかりとなるよう、一定の基準により選定・発表されているものです。

1977年から第17回までは毎年、それ以後は隔年で発表され、学校図書館などで活用されてきました。

今回は第25回(2010年)の内容に加え、2009年10月から2011年9月までに刊行された絵本の中から厳選された15点を含む全253点のリストとなっています。

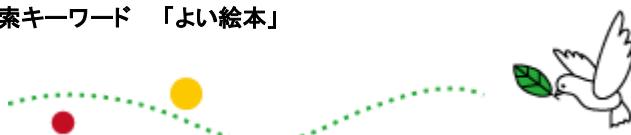
内容は、日本の創作絵本、日本の民話や昔話の絵本、外国の絵本、科学や生活をテーマにした知識の絵本などについて、新しい作品だけでなく、長く読み継がれてきた絵本が紹介されています。

また今回からは、学校関係者や関連機関だけでなく広く一般へも提供するため、従来の冊子での提供からホームページでの公開へと発表の仕方が変わりました。全作品の表紙と解説が掲載されている解説目録をはじめ、絵本の内容を種類別に、また、6段階の対象年齢別にしたリストなどが確認できます。

詳しくは全国SLAホームページをご覧下さい。

◆全国SLAホームページ 第26回「よい絵本」

URL:<http://www.j-sla.or.jp/recommend/26th-yoiehon-top.html>
検索キーワード 「よい絵本」



児童図書研究室の本棚から

『絵本の庭へ』(児童図書館基本蔵書目録1)

東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2011.3 (J028.09/ト/)

子どもの本と読書を専門として活動している公益財団法人東京子ども図書館の、その豊かな実践と知識が詰まつた1冊です。

本のタイトルなどの書誌情報はもとより、内容の紹介はあらすじに加え、絵の筆触や本のつくり、画家や作家の情報なども盛り込まれています。また、実践をもとに付けられた対象年齢などのマークは、読み聞かせやブックトークのための本選びに役立ちます。特に件名とその索引が充実しており、実際に使ってみると、絵本と子どもたちをつなぐための細やかな配慮が隅々にまで行き届いていることがわかります。

今後、昔話や古典、創作文学についての第2巻『物語の森へ』と、ノンフィクションについての第3巻『知識の海へ』の刊行が予定されているとのこと。

子どもと本を結ぶ活動をされている方には是非手にとっていただきたい資料です。

子どもゆめ基金

平成25年度助成活動募集が始まりました

子どもゆめ基金の平成25年度助成活動の募集が開始されました。

助成の対象として、子どもへのおはなしかいや読書に関するワークショップを開催するなどの活動や、読書ボランティアの育成などの子どもの読書活動を支援する活動も含まれます。

募集に関する詳しい情報や助成金募集案内のお求めは、下記にお問い合わせ下さい。

◆独立行政法人 国立青少年教育振興機構

子どもゆめ基金部助成課

フリーダイヤル 0120-579081(平日 9:00~17:45)

URL:<http://yumekikin.niye.go.jp/>

検索キーワード 「子どもゆめ基金」

平成24年度子ども読書活動推進研修講座 質問から

平成24年度子ども読書活動推進研修講座において、参加者の方から様々な質問をいただいております。

その中から、読み聞かせなどの活動と著作権について参考となる情報を紹介します。

◆「お話し・読み聞かせ団体等による著作物の利用について」

(児童書四者懇談会)

URL:<http://www.jbpa.or.jp/guideline/readto.html>

(日本書籍出版協会HP内)

◆「お話し・読み聞かせに関する著作権Q&A

～児童書四者懇談会の「お話し・読み聞かせ団体等による

著作物の利用について」の疑問点を中心に～

(日本図書館協会著作権委員会)

URL:<http://www.jla.or.jp/portals/0/html/kenkai/200707.pdf>

または

『こどもの図書館』 2007年12月 Vol.54 No.12

(児童図書館研究会)



福島県立図書館・ふくしまサイエンスぷらっとフォーム (spff)
連携事業



今回のテーマ

『人工衛星の金と黒』



ふくしまサイエンスぷらっとフォーム
<http://www.spff.jp/>

このコーナーは、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム (spff) 会員の科学コラムと、福島県立図書館「こどものへや」担当者の子どもの本の紹介となっています。

【図書館・公民館図書室・学校図書館のみなさまへ】

こちらのコーナーは、館内掲示に限って、複写・切り取りをして利用することができます（点線に沿ってお切り下さい）
上記以外の目的でご利用されたい場合には、福島県立図書館・児童図書研究室までお問い合わせください。

「人工衛星の色は何色ですか？」と聞かれて、あなたは何色と答えますか？

小惑星探査機「はやぶさ」が有名になったので、本体を包む金色と太陽電池パネルのメタリックブルーのピカピカしたイメージを持たれる方が多いのでは？

あの金色は、サーマルブランケットと呼ばれる断熱材の色で、黄色のフィルムにアルミニウムを蒸着させていため金色に見えます。このフィルムが宇宙空間における極端な温度差（-100°C～+200°C 静止衛星の場合）から人工衛星を守っており、人工衛星の基本的な色です。このフィルムにカーボンを混ぜて電気を通すようにしたものもあり、この場合カーボンの色を反映して真っ黒になります。月周回衛星「かぐや」はこのタイプです。精密な月観測を行うため測定機器類への影響を最小限にするためです。

一方、人工衛星内部はどうでしょうか？

人工衛星の内部は有人の宇宙ステーションと異なり真空状態になります。この真空中で機器類からの熱を効率よく放射・吸収するために最も効率的な色＝黒色に塗装します。このため当社で生産している衛星搭載機器も全て黒色の塗装を施しています。つまり、人工衛星の内部は全て真っ黒ということになります。

以上のように、人工衛星は外側も（金か黒）、内側も（黒）自由に色が選べないものなのです。

★spff会員/NECネットワークプロダクツ(株) (開発部 小川 文輔)

【このテーマに関する 子どもの本】

◆「なるほど宇宙」宇宙開発事業団/監修 宇宙環境利用推進センター 2002.3

宇宙空間には空気がないため熱の伝わり方が地球上とは違い、太陽に照らされている部分と影の部分では大きく温度が異なります。そんな厳しい宇宙の環境や、そこで進められる宇宙開発や研究について、楽しく学べる読み物です。小学校高学年～

◆「世界にはばたく日本力 日本の宇宙技術」こどもくらぶ/編 ほるぷ出版 2011.1

静止衛星とは、約3万6千km上空で地球の自転と同じ速さで回り、地上から見るといつも同じ位置で止まっているように見える人工衛星のことです。その中には気象衛星や放送・通信衛星なども含まれます。様々な目的で作られる人工衛星は、宇宙から私たちの暮らしを支えてくれているのです。小学校中学年～

◆「宇宙ヨットで太陽系を旅しよう～世界初！イカロスの挑戦」森 治/著 岩波書店 2011.10

工学を「いろいろな予測・制約をふまえてものを作り、実際に動かすことでその成果を確認する、という活動は、純粋におもしろい世界」と表す著者。宇宙ヨット「イカロス」の研究・開発を通じて、緻密で精巧なものづくりの魅力を語ります。中学生～



2012 第66回 読書週間

2012年10月27日(土)

～11月9日(金)

今年の標語は

「ホントノキズナ」です

【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787